

「ちきゅう」 一般公開

参加無料

事前申込不要

3月6日(土) 7日(日)

開催日時

平成22年3月6日(土) 10:00~15:00最終受付
3月7日(日) 10:00~14:00最終受付

※地球深部探査船「ちきゅう」整備状況、天候等により中止・延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

開催場所

清水港日の出埠頭4号及び5号岸壁

※専用の駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催

静岡県、国立大学法人静岡大学、東海大学海洋学部、
独立行政法人海洋研究開発機構

協賛

静岡市、清水港客船誘致委員会、しずおか防災コンソーシアム

お問い合わせ

独立行政法人海洋研究開発機構 事業推進部 広報課
電話 046-867-9056(直通) Fax番号 046-867-9055

当日一般見学確認ダイヤル

054-200-4894

※(市役所いつでも電話サービス)一般公開中止等の確認用電話番号です。
ご質問等へはお答えできませんのでご注意ください。

詳しくは <http://www.jamstec.go.jp/>

注意事項

- (1)悪天候等により中止あるいは時間を変更する場合があります。
- (2)小学生以下のお子様は必ず保護者が同伴してください。
- (3)当日は多くの見学者が予想されます。このため船内安全確保の観点から入船制限を行い、岸壁にてお待ちいただく場合がありますので予めご了承ください。
- (4)「ちきゅう」船内は階段、段差が多いため、車いすなど移動に介助が必要な方は、安全上の理由から船内の見学をご遠慮いただく場合がありますので、事前にご相談願います。
- (5)「ちきゅう」船内には網状の床などもありますので、スカートでの見学はお勧めいたしません。なお、船内は足元が悪いことから、サンダル等滑りやすい履物、並びにハイヒール等かかとの高い靴はご遠慮ください。
- (6)見学時間は約1時間です。船内のトイレは使用できませんので、事前にお済ませください。
- (7)船内への手荷物の持ち込みはできる限りご遠慮ください。安全保障上の理由により、ペットボトルや引火しやすい製品、ナイフ等の鋭利な品物を船内に持ち込むことは固くお断りいたします。場合により、乗船前に手荷物の中身を確認させていただくことがあります。
- (8)新型インフルエンザ対策のため、乗船前に問診票の記入ならびに検温を実施させていただきます(非接触式体温計、所要時間は数秒程度)。また、咳、くしゃみ、熱などインフルエンザに該当する自覚症状がある方は入場をご遠慮ください。
- (9)上記のほか、岸壁及び船内では係員の指示に従ってご見学願います。見学順序以外の立ち入りは危険ですので固くお断りいたします。指示に従われない場合は、見学を中止して下船していただきます。



← 新幹線一車両 約 26m

地球深部探査船「ちきゅう」

全長:210m 幅:38m 高さ(船底から):130m
国際総トン数:57,087トン
最大速力:12ノット 最大乗船人員:150名



地球深部探査船「ちきゅう」寄港記念シンポジウム

〃地震・防災ちきゅうシンポジウム in 清水 -「ちきゅう」と地震科学の最前線-〃

開催日時

平成22年3月6日(土) 10:00~14:30

開催場所

清水マリンビル1F多目的ホール(静岡市清水区日の出町9-25)

主催

静岡県、国立大学法人静岡大学、東海大学海洋学部、独立行政法人海洋研究開発機構

協賛

静岡市、清水港客船誘致委員会、しずおか防災コンソーシアム

事務局

東海大学海洋学部

お問い合わせ

本シンポジウムに関する問い合わせ先
東海大学海洋学部 総務課広報係
電話 054-334-6913(直通) 054-334-0411(代表) Fax番号 054-334-0937

3月6日(土)

参加無料

事前申込不要

先着500名

地球深部探査船「ちきゅう」寄港記念シンポジウム

“地震・防災ちきゅうシンポジウム in 清水-「ちきゅう」と地震科学の最前線-”

プログラム

<午前の部> 地球深部探査船「ちきゅう」とその科学成果(10:00-11:30)

- ① 開会挨拶 小林 佐登志 (静岡県危機管理監)
- ② 「ちきゅう」が目指す科学 倉本 真一 (海洋研究開発機構)
- ③ 南海掘削の最新の成果-1 木下 正高 (海洋研究開発機構)
- ④ 南海掘削の最新の成果-2 斎藤 実篤 (海洋研究開発機構)

<昼休み> (11:30 - 12:30)

<午後の部> 東海地域の地震・火山防災にせまる(12:30-14:30)

- ① 歴史に学ぶ東海地震と富士山噴火 小山 真人 (静岡大学教授)
- ② 地震予知研究の最前線 長尾 年恭 (東海大学教授)
- ③ 東海・東南海地震と津波を捕まえる
-海底からリアルタイムで地震・津波を観る- 金田 義行 (海洋研究開発機構)
- ④ 減災社会を築く 岩田 孝仁 (静岡県危機管理局危機報道監)
- ⑤ 閉会挨拶 平 朝彦 (海洋研究開発機構理事)

連絡先 東海大学海洋学部総務課広報係 電話054-334-6913直通

開催場所

清水マリビル1F多目的ホール
(静岡市清水区日の出町9-25)

路線バス(しずてつジャストライン)

清水駅西口9番乗り場から三保ランド又は、三保灯台下行きに乗車してください。三保方面行きは、ほぼ10分間隔にて運行されています。

清水駅から10分弱のバス停「波止場・フェルケール博物館」で下車してください(大人100円)バス停より「清水マリビル」までは徒歩5~6分、「ちきゅう」公開会場までは7~8分程度です。

電車でお越しの方

JR静岡駅よりJR清水駅までは約15分、230円 静岡鉄道の新静岡駅から新清水駅までは約20分、290円

